

また、神である主は言われた。「人が独りであるのは良くない。彼にふさわしい助け手を造ろう。」(18)

神がアダムのために妻を造られたときに言われたのが今日の聖句です。ここに夫婦のあるべき姿が描かれています。「ふさわしい」という言葉には幾つかの意味がありますが、第一は「前にある」という意味です。夫婦は対等の立場に立つて、対話する者として相手の「前にある」存在です。第二は、「正反対の」という意味です。男女はそれぞれ決定的な違いをもっています。この両者の違いは互いの欠けを補い合うための違いです。第三は、「一致する」という意味です。正反対の者たちが互いの前に立ちながら、「一致する」というのです。それは同じ一つの方向を目標として歩みを共にする姿を表します。オーケストラには様々な楽器がありながら、一つの美しいハーモニーを奏でるのに似ています。そのように神が創造された目的に適った美しい家庭が築かれていくことを心から願います。